



## 政府による被ばく強制をゆるさない！

2011年の「3・11」福島第一原発事故から4年を前に、福島では112人もの子どもたちが甲状腺がんとその疑い（悪性腫瘍）の診断を受けています。しかしながら、政府の意を受けた福島県立医大はこの現実と原発事故との間の因果関係を否定し続け、福島の人びとは除染ビジネスと一体で推進される「復興」「帰還」キャンペーンによってさらなる被ばくを強いられようとしています。

さらに、鹿児島県の川内原発、福井県の高浜原発の再稼働が狙われ、原発の輸出が「成長戦略」の柱としてすすめられています。本稿宴会では、そうしたなかで福島に身をおいて診療を続けてこられた布施先生に福島の現状と展望を語っていただきます。

## ふくしま共同診療所とは

福島第一原発事故後、被ばくの現実を無視・隠蔽する政府の方針のもとで、「福島の子どもの命と健康を守ろう」という呼びかけのもと「避難・保養を勧めつつ、福島を離れられない住民の命と心のよりどころとなる」ことをめざし、全国・全世界から基金を募って2012年の冬に開院しました。

現在、布施幸彦先生を院長とし、甲状腺エコー検査や仮設住宅での健康相談会などを行っています。私たち学生も、すべての原発を廃炉にしてゆく闘いの一環としてこの診療所を支え、発展させてゆきましょう！

◇ふくしま共同診療所  
福島県福島市太田町  
20-7 佐周ビル1階  
TEL 024-573-9335



# 3・11反原発福島行動'15

再稼働、戦争、首切り もうたくさんだ 怒りを力にたちあがろう つながろう

### 【日時】

3月11日（水）13時～

※12時からプレイベント

### 【場所】

郡山市民文化センター 大ホール

（集会後、デモ行進）

### 【呼びかけ】

3・11反原発福島行動実行委員会

<http://fukushimaaction.blog.fc2.com/>

[3.11fukushimaaction@gmail.com](mailto:3.11fukushimaaction@gmail.com)



\*東京からバスを出します。ぜひともかけつけ、声をあげましょう！  
乗車を希望されるかたは、表面記載の連絡先までお知らせください。